

【英語】

～ClassPad.net のファイルふせん・リンクふせんを活用する～

説得力のあるスピーチを考える授業（前半）

模擬的な Launch Event を通して、聞き手を説得できるスピーチをする力を養う。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：生徒の英語を話すことに対する抵抗を減らし、楽しみながら説得力のある話し方を身に付けさせる。

生徒向けの目標：説得力のあるスピーチとはどのようなものかを考え、実践する。

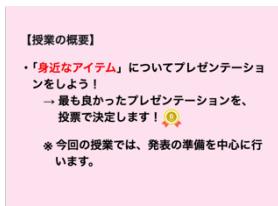
【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・**生徒の理解促進** : リンクふせんを使って動画を再生・配布することで、授業テーマに対する深い理解を促す。
- ・**協働学習促進** : 授業支援機能を利用して生徒間で作業内容を共有することで、グループワークを効率的に進めることができる。
- ・**探究学習促進** : カメラふせんやテキストふせんなど多様な機能を利用し、クリエイティブな発表を考えることが可能になる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

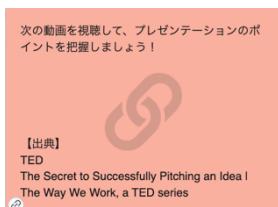
step1



概要の説明

各班（最大7班）に、与えられた身近なアイテムを売り出すための3分間の発表を行ってもらい、どの班のプレゼンテーションが最も良かったかを最終的に投票させることを説明する。また、今回の授業では発表の準備まで行い、発表自体は次回の授業であることも伝える。

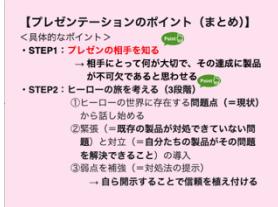
step2



ポイントの説明

プレゼンテーションにおけるポイントについて英語で語られている動画を日本語字幕をつけて再生し、全員で視聴する。さらに、動画の要点を日本語でまとめたものも提示する。

YouTube 動画「The Secret to Successfully Pitching an Idea | The Way We Work, a TED series」(<https://www.youtube.com/watch?v=l0hVIH3EnIQ>) の URL を貼り付けてリンクふせんを用意し、プロジェクトや電子黒板を用いて動画を再生する。また、見返せるよう授業支援機能で生徒に配布もする。動画の要点は、テキストふせんを用いてまとめたものを提示する。



step3

【作業】

- 配布するワークシートを用いて、まずは個人で各アイテムについて考えてみる。
- ワークシートを記入する際、先程の動画から学んだ「プレゼンテーションのポイント」を意識する。

<注意事項>
各アイテムが通常持っていない性質・機能を追加することは禁止！



テーマの発表

各班（最大7班）にtorch（懐中電灯）、pencil（鉛筆）、banana（バナナ）、chair（椅子）、wired earphone（有線イヤホン）、randoseru（ランドセル）、flip-flops（ビーチサンダル）のアイテム（テーマ）を与える。まずは、配布したワークシートを用いて作業を行わせる。ワークシートでは、step2で学んだ3つのポイントについて、各自の班が割り振られたアイテムを当てはめて考えさせる。

なお、各アイテムが通常持っていない性質・機能を追加することは禁止とする。

Word等で作成したワークシートをファイルふせんに貼り付けて、授業支援機能を用いて生徒に配布する。生徒にはそのふせん上に手描き機能を用いて書き込ませる。

step4

【グループワーク】

- 記入したワークシートを、グループのメンバー同士で共有し合う。
- 共有したワークシートをもとにグループで議論し、プレゼンテーションの内容や方針性を決定する。この際も、先程の動画から学んだ「プレゼンテーションのポイント」を意識する。
- 発表の練習をする。
- カメラふせんを用いて記録し、見せ方や話しかけなどで改善すべき点を指摘し合う。

【発表形式について】 ⇒発表そのものは次回！

- 制限時間は3分間。
→時間が来たら、途中でも打ち切ります！
練習の際、時間を計るとよいでしょう。
- 発表の形式は自由です。
→代表者がひたすら話す or パート分けする各種ふせんをスライドショーにして見せる写真や動画などを使用する etc.....
制限時間に注意しつつ、最も効果的な伝え方を考え、工夫してみましょう！

グループワーク

個人で行った作業を送受信機能で班のメンバーと共有しながら、3分間の発表の準備を進めさせる。この際に、カメラ機能でお互いの動画を撮り合って、話し方で改善すべき点を指摘し合わせる。

なお、発表の形式は自由とし、テキストふせんを使ってプレゼンテーションのスライドを作ってもよいし、動画や写真をふせんに貼り付けてもよいものとする。step2の動画で学んだコツを強く意識して、説得力のある発表のための準備を進めるよう促す。

授業支援機能を利用して、個人作業で使用していたふせんをグループのメンバー同士で送信し合うよう指示する。

発表の練習をさせる際は、カメラふせんなどの機能を用いて記録し、振り返りやすくしてもらう。各班の発表形式は自由なので、テキストふせんやカメラふせんなどを各自工夫しながら利用して、発表準備を進めるよう促す。

step5

【宿題】

- 次回の授業までに、発表の準備を終えておくこと。

楽しみながら準備しましょう！

まとめ・宿題

step2で学んだコツを復習し、次回の授業までに発表の準備を終えておくことを伝えて、授業を締めくくる。

テキストふせんを用いて授業のまとめを電子黒板等に提示する。

step6

次の動画は、国際スピーチコンテストの世界チャンピオンである Dananjaya Hettiarachchiによる、2014年の大会で優勝した際のスピーチです。
聴聴して、自分たちのスピーチとどのような点が異なるか、どのようなことを意識して話していると思ったかなどを考えてみましょう！
【出典】
Dananjaya Hettiarachchi
Dananjaya Hettiarachchi - World Champion of Public Speaking 2014 - Full Speech

スピーチの世界チャンピオン Dananjaya Hettiarachchi が 2014 年の大会で優勝したスピーチのリンクを配布し、どのような点が自分とは違うか、どのようなことを意識して話していると思ったかなどを考えさせる（日本語字幕をつけてもよい）。宿題としてファイルふせんで提出させてもよい。

YouTube 動画「Dananjaya Hettiarachchi - World Champion of Public Speaking 2014 - Full Speech」(<https://www.youtube.com/watch?v=bbz2boNSeL0>) の URL を貼り付いたリンクふせんを用意し、授業支援機能を用いて生徒に配布する。宿題とする場合は、感想や考えたことをテキストふせんに書かせて、提出機能を用いて教員に提出してもらう。